

産業構造審議会 産業技術環境分科会 産業環境対策小委員会（第4回）-議事要旨

日時：平成28年3月25日（金曜日）14時00分～16時00分

場所：経済産業省本館17階第1特別会議室

出席者

東海小委員長、指宿委員、岩崎委員、漆原委員、大石委員、梶井委員、亀屋委員、川又委員、佐藤委員、高橋委員、高村委員、竹内委員、土井委員、永田委員、馬場委員、原田委員、春山委員、東野委員、光成委員、村田委員、山崎委員、市川氏（小林委員代理）、酒井氏（根本委員代理）

議題

1. 揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組の状況
2. 水銀の大気排出抑制に係る検討状況
3. 公害防止管理者制度について
4. その他の産業環境対策に関する取組状況
5. その他

議事概要

1. 揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組の状況

事務局から、資料2に沿って、揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組の状況について説明を行い、平成28年度以降も自主的取組参加企業等の負担軽減にも留意しつつ、現在の取組を継続するとともに、毎年度のフォローアップを行うとの事務局案が了承された。

委員からは以下のような発言があった。

- 来年度以降も現在の取組を継続するという事務局案に賛成。
- 努力した企業が評価されるように、取組内容、ノウハウ等について情報発信していくことが必要。
- 自主的取組によるVOC削減効果や費用対効果等についての分析が重要。
- 参加企業の拡大に向けた対応についても検討すべき。
- 規制は中小企業への影響を踏まえ、慎重にすべき。
- VOC削減は、労働安全の点からも有意義である。

2. 水銀の大気排出抑制に係る検討状況

事務局から、資料3-1に沿って、水銀の大気排出抑制に係る検討状況について、資料3-2に沿って、水銀に関する水俣条約及びその対応状況について説明を行い、要排出抑制施設の設置者の自主的取組については、今後、本小委員会でフォローアップを行うことが了承された。

委員からは以下のような発言があった。

- フォローアップの際には、削減要因が把握できるようにする必要がある。

3. 公害防止管理者制度について

事務局から、資料4に沿って、公害防止管理者制度について説明を行い、現状の制度を維持し、定期的にレビューを実施する等の事務局案が了承された。

委員からは以下のような意見があった。

- 公害防止管理者の講習・セミナーを行う側の講師の人材育成についても今後の課題ではないか。
- 制度自体は現状維持でよい。災害時の公害防止対策の検討も必要ではないか。

4. その他の産業環境対策に関する取組状況

事務局から、資料5に沿って、その他の産業環境対策に関する取組状況について説明を行った。
委員からは以下のような意見があった。

- 環境計量証明に必要な書類等の電子化を推進してほしい。
- 研究開発事業で実用化された土壌の浄化技術が有効活用されるような枠組を検討してほしい。

以上

関連リンク

[産業構造審議会 産業技術環境分科会 産業環境対策小委員会の開催状況](#)

お問合せ先

産業技術環境局 環境指導室
電話：03-3501-4665
FAX：03-3580-6329

最終更新日：2016年3月29日